

在留邦人の子供達が日本代表チームを歓迎

6月6日、日本代表チーム「サムライブルー」一行がキャンプ地ジョージに到着しました。ヨハネスブルグ日本人学校及びケープタウン在留邦人の子供達7名が、宿舎ファンコートにて日本代表チームを歓迎し、勝利を願う青色の千羽のヤタガラスや、日本人学校の子供達や先生方の応援メッセージを選手達に手渡しました。また、5日には街を上げて日本チーム歓迎ムードに沸くジョージ市の子供達と日本の子供達による交流試合を行い、大使館も支援致しました。

南アフリカに居住する在留邦人1,300名は、アフリカ大陸で初の開催となる2010 FIFAサッカーワールドカップ南ア大会の成功と、同大会での日本代表チームの健闘を応援しています。



ファンコートにて日本代表チームを歓迎



日本代表チームの健闘を応援します！



ジョージ市の子供達との交流試合